

# Picasa<sup>3</sup>でコラージュ作成

2018年12月5日 初版

2018年12月28日 改訂

2019年1月24日 改訂

パソコンを使いこなす会

## 第18回、19回、20回 分科会のテーマ：「Picasa3でコラージュ作成」

【開講日：平成30年12月18日、平成31年1月8日、平成31年1月15日】

Googleが配布している無料の画像管理ソフトPicasa3の機能の一つに、複数の写真を「貼り合せ」で作る「コラージュ機能」があります。Picasa3のメイン機能である「写真の基本編集機能」とはやや離れた機能であるため、Picasa3を使っている人にもほとんど知られていないソフトと云われています。

今回、2回の講座で皆さんがお持ちの写真を「Picasa3でコラージュを作成」し「googleフォト」へアップロードして、親しい方々にそのアルバムを観てもらっては如何でしょう。!!

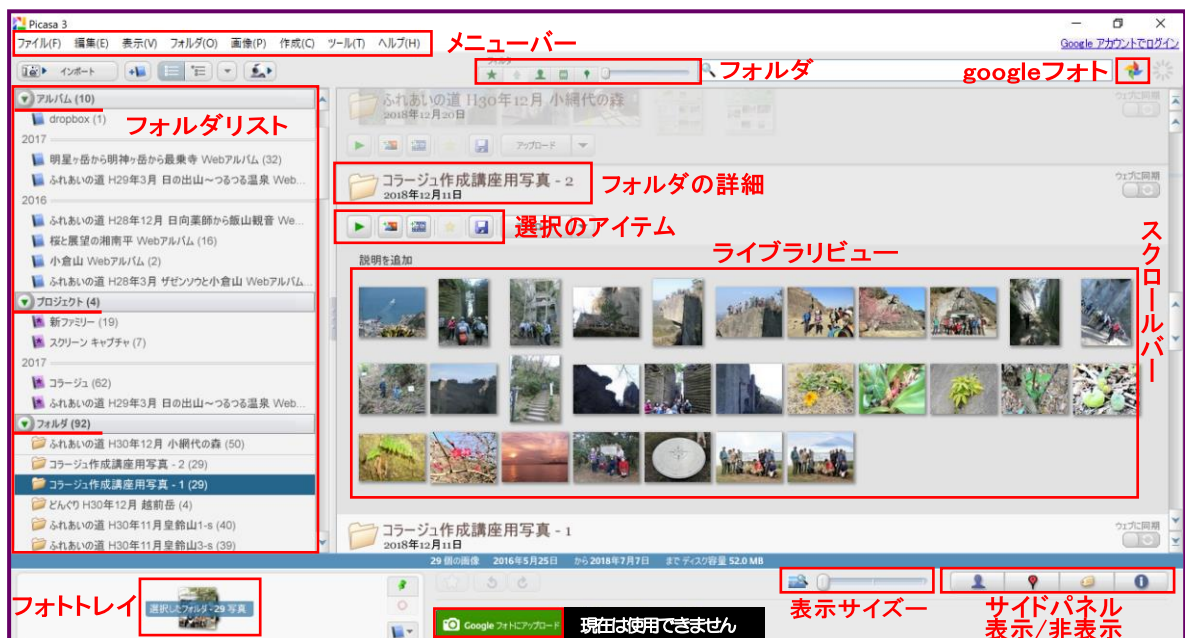
1. コラージュ作成－グリッド
2. コラージュ作成－モザイク
3. コラージュ作成－フレームモザイク
4. コラージュ作成－写真パイル
5. 写真の差し替え
6. 写真の「色合い」の調整
7. 写真の「傾き」の調整
8. 写真の「傷（レタッチ）」の修整
9. 写真の切り抜き（トリミング）
10. 写真への「テキスト」編集
11. Googleフォトへのアップロード

### I. コラージュ作成講座を始める前に

A) Picasa3を立ち上げます。



B) Picasa3の基本編集画面が表示されます。



C) 講座の中で例として使う「コラージュ」は

例として使う「コラージュ」は新海が房総半島の「鋸山」に行った時の写真をアルバムにし google フォトにアップロードしたものです。“わ”の会のHPにある同名のWebアルバムと異なります。このWebアルバム「鋸山 観月台から車力道」は、下のURLで見ることが出来ます。

<https://photos.app.goo.gl/VZ5y57th1kqEPv498>

このWebアルバムの「20番目、21番目、6番目、23番目、24番目」と「サムネイル表示、多重露出」等のコラージュを講座で作成し、「コラージュ作成」の基礎を習得してゆきましょう。



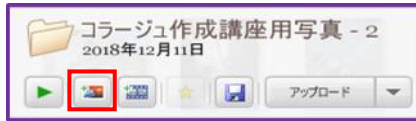
※コラージュ形式「サムネイル」と「多重露出」  
 この2つの「コラージュ形式」は、制作者は「写真の選択」に携わるだけで、あとはPicasaのソフトが行うという「コラージュ形式」で、シャフルや指定の写真を「前面」するなどはできません。作成者としては「ちょっと物足りない」と感じる所があります。でもこの2つをWebアルバムで採用する事で、アルバムがバラエティーあるものになる事請け合いです。使ってみて下さい。



## II. コラージュ作成

### 1. 20 番目 (コラージュ形式：グリッド) のコラージュ作成

- (ア) コラージュ作成講座用写真-2 (以後、写真-2と呼称) から 12 枚の写真を選択し「コラージュ」ボタンをクリックします。



- (イ) 6 つの「コラージュ形式」から「グリッド」を選択します。
- (ウ) 「ページ形式」から「4 : 3 標準画面」を選択します。どのページ形式でもかまいませんが、講座では「4 : 3 標準画面」を使用します。
- (エ) 「グリッド間隔」スライダーにマウスポインターを軽く押しながら右に移動させます。
- (オ) (エ)の操作で「背景オプション」がアクティブになり、「背景オプション」の四角枠をポインターでクリックすると「カラーパレット」が表示されます。このパレットを使い「テキストの色」の設定ができ、「グリッドの間隔」で写真と写真の間の背景色の間隔が調整できるようになります。



- (カ) コラージュした写真と写真の入れ替え(シャフルという)をする事が出来ます。作成したコラージュ作成画面の下にある「画像をシャフル」で Picasa3 のソフトに任せてシャフルするか、作成者が写真を「選択」し「ドラッグ」して、写真を配置したい所で「ドロップ」しシャフルをします。
- (キ) 「写真の配置(シャフル)」「背景色」や「グリッド間隔」が良ければ「コラージュの作成」ボタンをクリックします。
- (ク) 画面は Picasa3 の「基本編集」画面になります。メニューから「テキスト」をクリックし、「好きな場所に入力してテキストを追加して下さい」と表示された所に、画像や写真のコメントや情報(今回はここに「石切場の風景」というテキスト)を入力し、テキストにマウスポインターを近づけると「変更スライダー(新海が勝手に命名)」が表示されます。変更スライダーでテキストの「スケール(サイズ)」「角度(向き)」を変更しテキストを完成させます。

好きな場所に入力してテキストを追加してください  
「テキスト入力域」

**テキスト用の  
変更スライダー**

**テキスト編集画面**

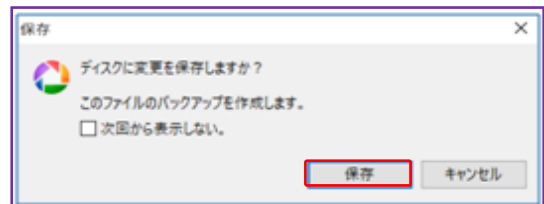
**変更スライダー (2種類)**  
画像を選択すると、下の様な画像用の  
変更スライダーが表示されます

画像・写真用の  
変更スライダー

**変更スライダーの使い方**  
スライダーはドーナツ状の形状  
で、左に矢印と赤丸のあるデザイ  
ンです。テキスト用と画像用 2  
種類あり、赤丸の部分で「左右に  
スライド」するとテキストや画像  
のスケール(サイズ)の変更がで  
き、スライダーの赤丸の部分で  
「円形図に沿って上下」に移動す  
るとテキストや画像の角度(向き)  
の変更ができます

(ケ) 完成させた「テキスト」をコラージュの配置位置に移動し「適用」をクリックします。

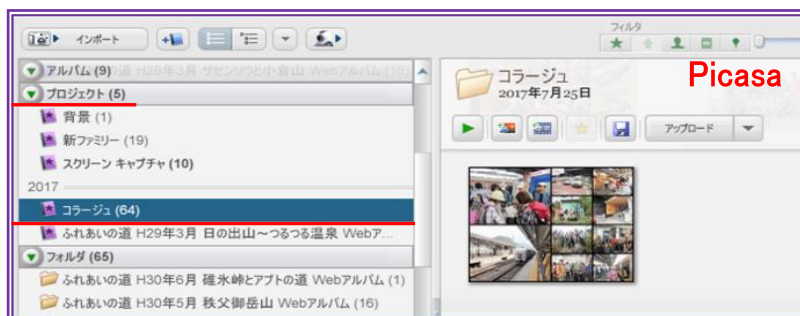
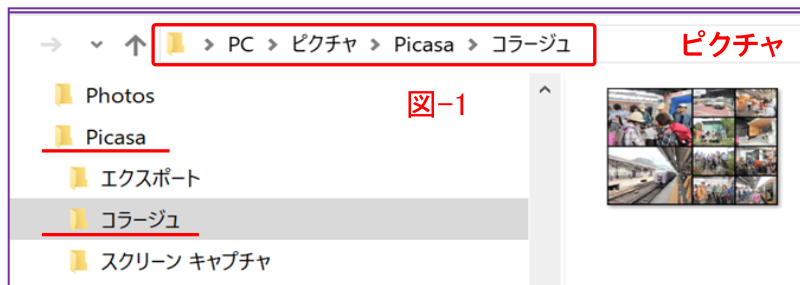
(コ) コラージュを保存する時は「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックすると「ディスクに変更を保存しますか？ (このファイルのバックアップを作成します) (このファイルのバックアップを作成します)」と聞いてきます。「保存」をクリックします。



◆ 作成したコラージュはどこに保持・保存・表示されるか

**ピクチャ** ではPC > ピクチャ > Picasa (Mac) の下の「コラージュ」に

**Picasa3** では「プロジェクト」のPicasaフォルダ (ツリー表示) 中の「コラージュ」フォルダに保持・保存・表示されます。必ず、ご自身で確認をしてください。



## Picasa3とピクチャの関わり

Picasa3とピクチャの関わりについて

※ Picasa3にはパソコン上(ピクチャ)の写真是保存されません

Picasaはパソコン上のフォルダを検索し、検出した写真是表示するだけです。

Picasa3の管理下にある「フォルダ」や「写真」を削除すると開く事ができなくなります

※ 元の写真是常に保持されます

Picasa3で編集ツールを使用する時に元のファイルが変更される事はありません。変更内容を保存しない限り、写真に加えた編集はPicasa3内部でのみ表示されます。表示した後でも、編集を適用した新しいバージョンの写真是作成され、元のファイルは完全に保持されます。

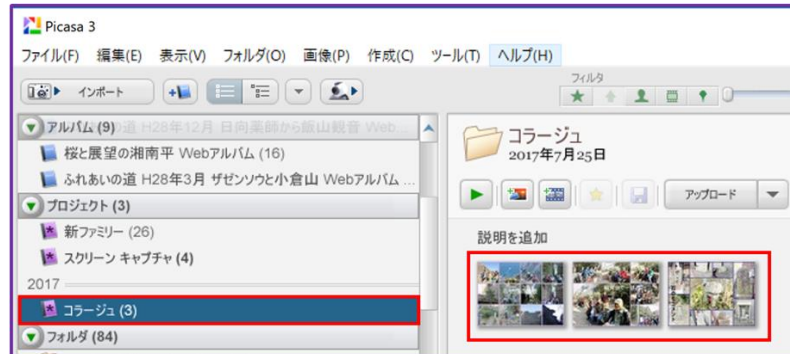
● 表示、保存、保持されている写真是確認する方法

ピクチャのPicasa > コラージュ (4ページ 図-1)に追加しているフォルダを開いてみると「.picasaoriginals」という隠しフォルダが存在する(図-2)。この.picasaoriginalsの中には「保持された写真」と「隠しファイルの.picasa.ini」が入っています。

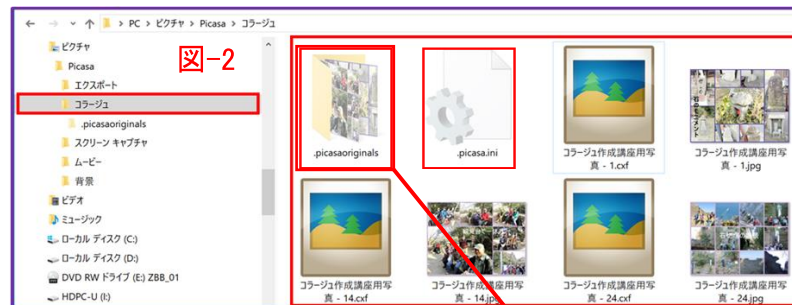
● 「拡張子.ini」は「設定ファイル」に付く拡張子

これは「プログラムなどで使用する設定値が書き込まれているファイル」です。

● Picasa3の「コラージュ」には作成した「コラージュ」が表示されます



● 隠し.picasaoriginalsの中には「保持された写真」と「隠しファイルの.picasa.ini」が入っています。

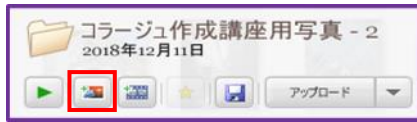


● ピクチャのPicasaコラージュの「隠しフォルダ.picasaoriginals」や「隠しファイル.picasa.ini」はPicasa3で写真是管理する上で重要なものです。絶対に編集したり、削除したりしないで下さい。



## 2. 21番目 (コラージュ形式: **モザイク**) のコラージュ作成

(ア) 「写真-1」から6枚の写真を選択し「コラージュ」ボタンをクリックします。



(イ) 「コラージュ形式」から「**モザイク**」を選択します。

(ウ) 「ページ形式」から「4:3 標準画面」を選択します。

(エ) 「グリッド間隔」のスライダーにマウスポインターを軽く押して右に移動させます。

(オ) (エ)の操作で「背景オプション」がアクティブになります。その四角枠にポインターでクリックすると「カラーパレット」が表示され、これを使い「テキストの色」の設定ができ、「グリッドの間隔」で写真と写真の背景色の間隔が調整できます。



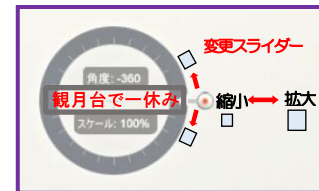
(カ) コラージュの写真と写真の入れ替え(シャッフル)を行う事が出来ます。

(キ) 「写真の配置」「背景色」「グリッド間隔」が良ければ「コラージュの作成」をクリックします。

(ク) 画面はPicasa3の「基本編集」画面になります。メニューから「テキスト」をクリックし、「好きな場所に入力してテキストを追加して下さい」と表示される処に「写真のコメントや情報(ここに「**観月台で一休み**」とテキストを作成)」を入力し、テキストにマウスポインターを近づけると「変更スライダー(新海が勝手に命名)」が表示されます。変更スライダーでテキストの「スケール(サイズ)」「角度(向き)」を変更しテキストを完成させます。



(ケ) 完成させた「テキスト」をコラージュの配置位置に移動し「適用」をクリックします。

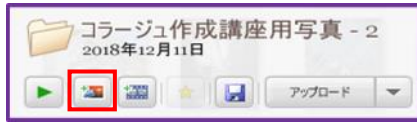


(ケ) コラージュを保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックすると「ディスクに変更を保存しますか? (このファイルのバックアップを作成します。このファイルのバックアップを作成します)」と聞いてきます。「保存」をクリックします。



### 3. 6番目 (コラージュ形式：フレームモザイク) のコラージュ作成

(ア) 写真1 から 9 枚の写真を選択し「コラージュ」ボタンをクリックします。



(イ) 「コラージュ形式」から「フレームモザイク」を選択します。

(ウ) 「ページ形式」から「4:3 標準画面」を選択します。

(エ) 「グリッド間隔」スライダーにマウスポインターを軽く押し右に移動させます。

(オ) (エ)の操作で「背景オプション」が「アクティブ」になり、その四角枠にポインターをクリックすると「カラーパレット」が表示され、これを使い「テキストの色」の設定ができ、「写真と写真との間隔」が調整できるようになります。

(カ) フレームモザイクは写真の「入れ替え(シャフル)」はPicasa3のソフトに任せるか、作成者がシャフルをしたい写真を「選択」し「ドラッグ」して置きたい場所で「ドロップ」すると「シャフル」ができます。

(キ) 「写真の配置」「背景色」「グリッド間隔」が良ければ「コラージュの作成」をクリックします。

(ク) 画面は Picasa3 の「基本編集」画面になります。メニューから「テキスト」をクリックし「好きな場所に入力してテキストを追加して下さい」と表示されている所に「写真のコメントや情報(今回は「石のモニュメント」と)を入力し、テキストにマウスポインターを近づけると「変更スライダー(新海が勝手に命名)」が表示されます。変更スライダーでテキストの「スケール(サイズ)」「角度(向き)」を変更しテキストを完成させます。

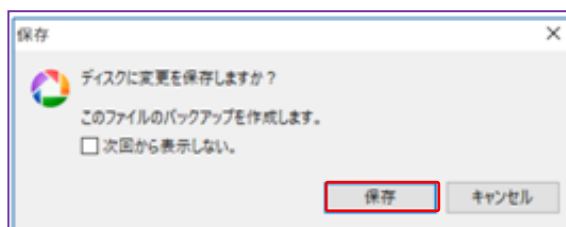
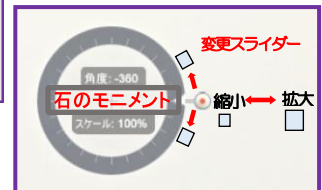
(ケ) 「フォントスケール(サイズ)」「角度」「フォントカラー」「スタイル」と「フォント配置位置」を良ければ「適用」をクリックします。

(コ) コラージュを保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックすると「ディスクに変更を保存しますか?」と表示される。このファイルのバックアップを作成します。このオプションは「次回から表示しない」で「保存」をクリックします。



コラージュの画面

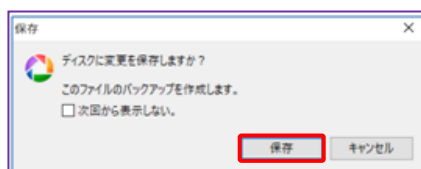
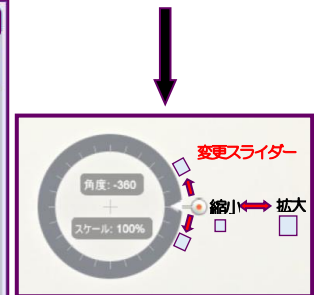
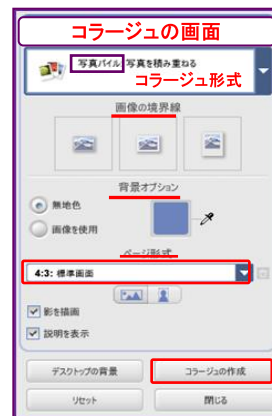
テキスト編集画面





#### 4. 24番目（コラージュ形式：写真パイル）のコラージュ作成

- (ア) 写真-2 から 7 枚の写真を選択し「コラージュ」ボタンをクリックします。
- (イ) 「コラージュ形式」から「**写真パイル**」を選択します。
- (ウ) 「ページ形式」から「4：3 標準画面」から選択します。
- (エ) 「背景オプション」から「背景色の選択」をします。
- (オ) 写真パイルでは「角度、スケール、配置位置」等は作成者が「スライダー」を使って行います。写真の「角度、スケール、配置位置」の変更は、写真を「選択」すると、スケールの左に矢印と赤丸のスライダー（**新海が勝手に命名**）が表示されます。その赤丸を「左右にスライドする」とスケールの変更が、「円形に沿って上下する」と写真の角度を変更ができます。写真パイルは作成者の意図で作品が作成でき、作成者の個性が表現できる形式とも言えます。
- (カ) 「コラージュの作成」をクリックします。
- (キ) 画面はPicasa3「基本編集」画面になります。メニューから「テキスト」をクリックし「好きな場所に入力してテキストを追加して下さい」と表示される所に「写真のコメントや情報（ここに「**春はすぐそこまで**」）を入力し、テキストにマウスポインターを近づけると「変更スライダー（**新海が勝手に命名**）」が表示されます。変更スライダーでテキストの「スケール（サイズ）」「角度（向き）」を変更しテキストを完成させ、良ければ「適用」をクリックします。
- (ク) コラージュを保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックすると「ディスクに変更を保存しますか？」と表示されるので、「このファイルのバックアップを作成します。」のチェックボックスを「次回から表示しない。」にチェックし、「保存」をクリックします。







❖ 「写真パイル」の違った使い方

「写真パイル」のもつ機能を使って別の使い方も出来ます。

- (ア) 写真-2 から 2 枚の写真を選択し「コラージュ」をクリックします。

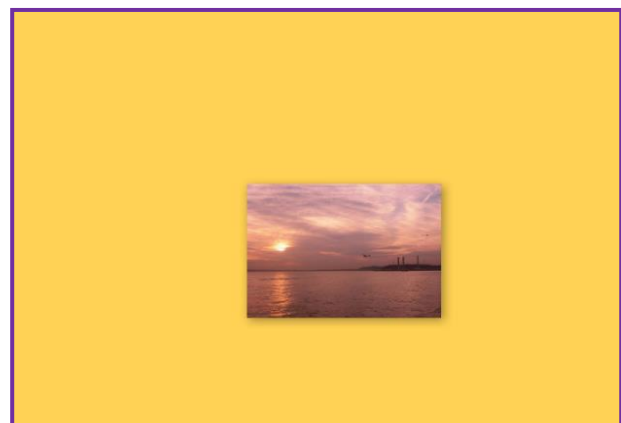
**なぜ選択が 1 枚でなく 2 枚なのか**

1 枚を選択をして「コラージュ」するとフォルダの写真全部が「コラージュ」画面に挿入されてしまうためです。

- (イ) 必要な写真を残すため、もう 1 枚の写真を「選択」し「削除」をクリックします。  
(削除する写真は実は**オトリ写真**)
- (ウ) 「コラージュ形式」から「写真パイル」を選択します。

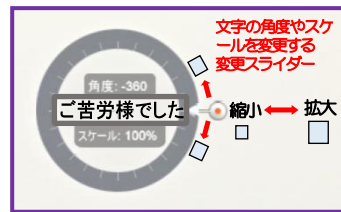


- (エ) 「ページ形式」から「4：3 標準画面」を選択します。
- (オ) 「背景色の選択」は「背景オプション」の「カラーパレット」で行います。



(カ) 残した写真を「ページ形式」画面に合わせ作品の構図を決め、写真の「角度、スケール(サイズ)、配置位置」等を決めます。

(キ) 写真に「テキスト編集」を使って「テキストや情報」を入力(ご苦労様でした)し「角度、スケール、配置位置」を設定します。

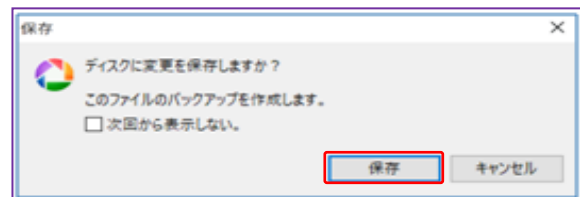


※上は「写真」の角度やスケールを調整するための「変更スライダー」で、文字変更スライダーの操作は同じ、左に矢印が付いた赤丸を「上下」に移動すると「角度」が、「左右」に移動するとスケール(サイズ)を変更させる事が出来ます。



(ク) 「適用」をクリックします。

(ケ) コラージュを保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックすると「ディスクに変更を保存しますか? (このファイルのバックアップを作成します)」と聞かれます。「保存」をクリックします。



❖ 演習した「コラージュ形式」の「グリッド、モザイク、フレームモザイク、写真パイル」は「作成」操作は同じで、1つの作成事例を理解する事によって、その他の「コラージュ形式」作成に応用が出来ます。一方、「サムネイル表示」「多重露出」は、先に説明した様に制作者は写真の選択に携わるだけで、あとはPicasaのソフトが行うというコラージュ形式で、シャフルや位置の指定や写真サイズなど変更ができません。作成者としては「ちょっと物足りない」と感じる所があります。実際に演習をしながら理解をして頂きます。



## 5. コラージュの写真の差し替え

作成した「コラージュ」の中の写真を、他の「写真と差し替え」をしたい時

### ❖ 「コラージュ」を作成する時に写真を選択したフォルダの中の写真と「差し替える」場合

(ア) Picasa3 のプロジェクトの「コラージュ」フォルダに保存されている写真を差し替えたいコラージュを「ダブルクリック」します。その「コラージュ」が「基本編集」画面に移動します。「コラージュの編集」をクリックします。「差し替える」写真を「選択」して「削除」をクリックします。「差し替える」写真が「コラージュ」の「クリップ」へ移動します。

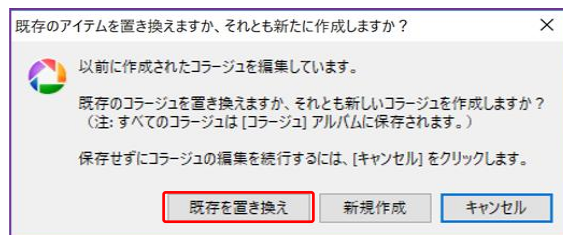
(イ) 「クリップ」に移動した写真以外が「選択」されています。その写真と写真の間で、一度クリックし「選択を解除」します。

(ウ) クリップの「フォルダ」の写真の中から「差し替える」写真を「選択」し「+」をクリックします。「差し替えたい」写真が「コラージュ」に「挿入」されます。



(エ) 写真が差し替えられた「コラージュ」の写真と写真の入れ替え(シャッフル)が必要であれば行います。よければ「コラージュの作成」をクリックします。

(オ) 画面に「既存のアイテムを置き換えますか、それとも新たに作成しますか？」と聞いてきます。「既存を置き換え」をクリックします。



(カ) これで写真の「差し替え」が終了です。

(キ) しかし、写真を「差し替え」ましたが、差し替えしたはずの「コラージュ」にならない時は、以下の方法で写真を「差し替え」た「コラージュ」にする操作を行います。


- 1) 「コラージュを編集」をクリックします。
- 2) 「写真の差し替え」をした「コラージュ」になっていないことを確認し「コラージュの作成」をクリックします。
- 3) 表示の「コラージュ」が写真の差し替えた物になっていれば、「既存を置き換え」をクリックします。
- 4) また、表示された「コラージュ」にテキストで作成した「コメントや情報」が表示され、配置位置等がよければ「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックします。
- 5) もし、4)でテキストを作成した「コメントや情報」が表示されていない時は「保存取り消し」をクリックし、表示された「コラージュ」に「コメントや情報」が表示されていれば「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックします。



❖ コラージュの中の写真を「クリップ」の「追加」を使って、他の写真と「差し替える」方法

(ア) Picasa3のプロジェクトの「コラージュ」フォルダ保存されている差し替えをしたいコラージュを「ダブルクリック」します。「コラージュ」は「基本編集」画面に移動します。「コラージュを編集」をクリックし、「差し替える」写真を「選択」して「削除」をクリックします。「差し替える」写真が「コラージュ」の「クリップ」へ移動します。

(イ) 「コラージュ」の「クリップ」に表示されているフォルダに差し替えたい写真が無い時、「コラージュ」画面の「クリップ」の「追加」をクリックします。「ライブラリー」画面に切り替わります。この時、コラージュ画面の「右下」に「プロジェクトのクリップに追加アイテムを選択し、【戻る】ボタンを押してプロジェクトに戻ります。【コラージュに戻る】というボタンが表示されます。



※「コラージュに戻る」ボタンが表示されるのは、写真の差し替えをする時「コラージュ」画面の「クリップ」の「追加」を選択すると、この「チェックボックス」ボタンが表示されます。同じフォルダの写真と差し替える時は、このボタンが表示されません。しかし、一度「クリップ」の「追加」を選択すると同じフォルダの写真を選択する時でも【コラージュに戻る】ボタンを押す必要があります。

プロジェクトのクリップトレイに追加するアイテムを選択し、[戻る]ボタンを押してプロジェクトに戻ります

コラージュに戻る

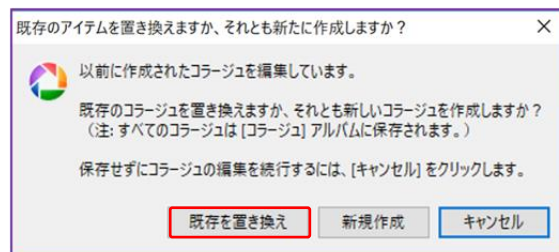
(ウ) 「ライブラリー」画面に「差し替える」写真が保存されているフォルダを選択し、そのファイルの中から「差し替える」写真を「選択」し、チェックボックスの【コラージュに戻る】ボタンをクリックします。

(エ) 「コラージュ」の「クリップ」画面に戻ります。「差し替える」写真が「選択」されている事を確認し画面の「+」をクリックします。「差し替える」写真がコラージュに「挿入」されます。



(オ) 「差し替えられた」写真を確認し、「コラージュ」の中の写真と写真の配置(シャフル)換えが必要ならば行います。よければ「コラージュの作成」をクリックします。

(カ) 「既存のアイテムを置き換えますか、それとも新たに作成しますか？」と聞いてきます。「既存を置き換え」をクリックします。



(キ) これで写真の「差し替え」が終了です。

(ク) しかし、写真の「差し替え」をした「コラージュ」にならない時は、10 ページの(キ)の 1)から 5)の手順を行い、写真を「差し替えた」後の「コラージュ」にする必要があります。

●これで Picasa3 での 6 種類の「コラージュ作成」は終了です。

以上

# 復習編

## Ⅲ. 復習編 1

Picasa3の写真「基本編集機能」を復習しましょう

※これから復習する写真の「基本編集機能」のうち「写真の切り抜き」以外はコラージュ作成をする前に、その写真の編集を行っておく事をお勧めします。

### 6. 写真の「色合いの調整」

(ア) Picasa3 に保存されている「色合いの調整」をしたい写真をダブルクリックします。画面に写真が表示されます。メニューから「色合いの調整」を選択します。

#### ライティングと色彩の調整 画面



(イ) 写真全体の明るさを上げたい時は編集画面の「明るさ調整」レバーを右に移動します。レバーを右に移動すると写真の明るさが変化します。幾分、白いぐらいが調整の目安となります。

(ウ) 次に編集画面の「シャドウ」レバーを右に移動させ、写真を明暗を強く引き締める機能として使います。

(エ) 暗い部分を明るく補正したいときは「ハイライト」を右に動かし調整します。写真を保存する時は「ファイル(F)」タブの「保存(S)」をクリックします。これで「色合いの調整」した写真が保存されます。

(カ) 「色合いの調整」で写真がどう変化したか見てみましょう



色調整前の写真



明るさ調整後



シャドウ調整後

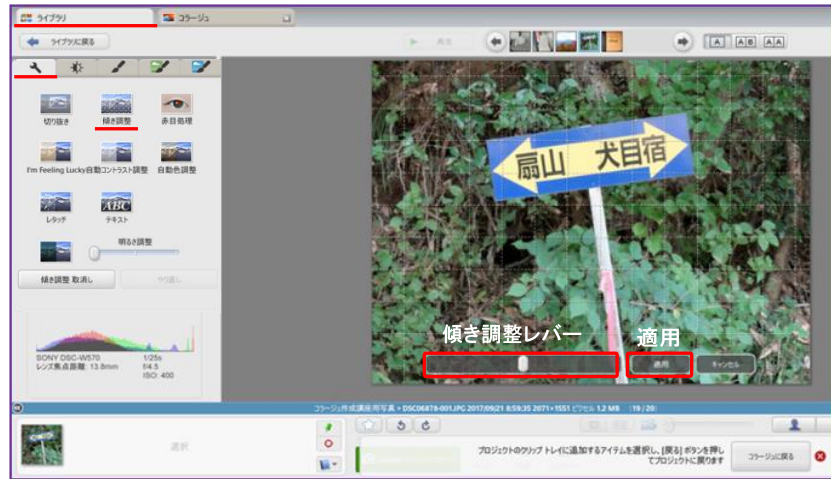


ハイライト調整後



## 7. 写真の「傾きを調整」

- (ア) Picasa3 に保存の「傾きの調整」をしたい写真をダブルクリックします。基本編集画面に写真が表示されます。画面のメニューから「傾きの調整」をクリックします。
- (イ) 画面の写真の下側に表示される「傾きの調整」レバーで写真を見ながら「右、左」に調整して「傾き調整」を行います。よければ「適用」をクリックします。



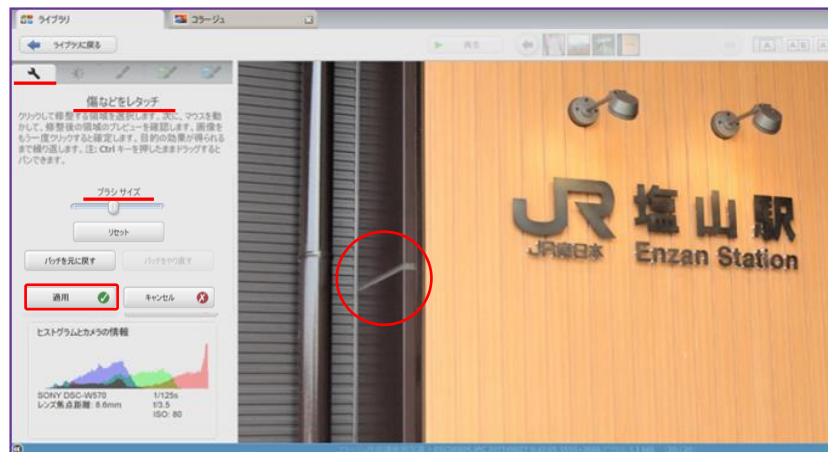
- (ウ) 写真を保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックします。これで「傾きの調整」は終了します。

## 8. 写真の「傷を修整」

- (ア) Picasa3 に保存の「傷を修整」をしたい写真をダブルクリックします。基本編集画面に写真が表示されます。基本編集機能のメニューから「レタッチ」をクリックします。
- (イ) 「傷などをレタッチ」画面にある「ブラシサイズ」レバーを右に移動して、その「サイズ」を決めます。そのままブラシを写真の「レタッチしたい場所」に移動して「クリック」します。クリックしたブラシの円形が「波打つ(ゆらぎ)」様に変化します。その状態で「傷を修整」したい似た様な写真の場所にブラシを移動し、修正したい「波打つ」場所から目を離さず観察しながら「レタッチ」に適当な場所を探し「クリック」をします。この操作を繰り返し行います。この操作を一度や二度ぐらいの演習で「傷を修整(レタッチ)」の技法を習得するのは難しい。数多く演習すると事によって、「傷の修整(レタッチ)」のコツを習得して頂きたいと思います。



(ウ) 一度の「傷の修整(レタッチ)」を行っても、写真の傷等が修整できない時は、(イ)の操作を繰り返して行う必要があります。根気よく続けて、よければ「適用」をクリックします。

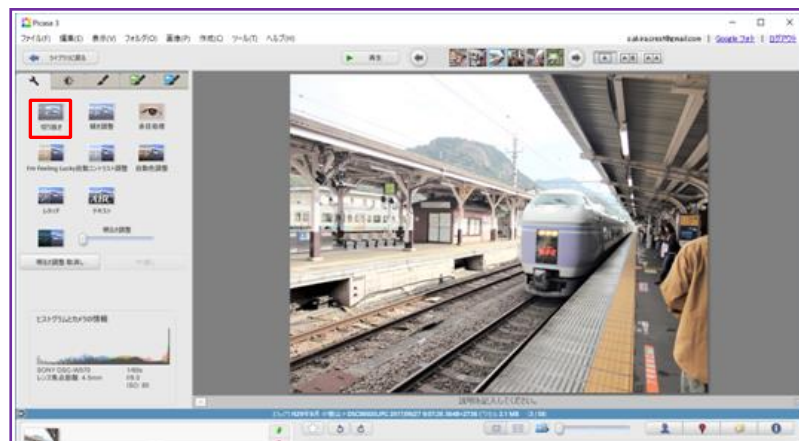


(エ) 「レタッチ」が終わったら写真を保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックします。これで「レタッチ」した写真が保存されます。

## 9. 写真の「トリミング(切り抜き)」

(ア) Picasa3 に保存の「切り抜き」をしたい写真をダブルクリックします。基本編集画面に「切り抜き」したい写真が表示されます。基本編集画面の「切り抜き(トリミング)」をクリックします。

(イ) 「写真を切り抜き(トリミング)」の編集メニューに変わります。「切り抜き」をしたい写真である事を確認します。



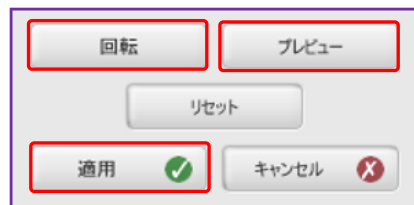
- (ウ) 「写真の縦横比率▼」をクリックします。「トリミング」する前に写真の縦横比率を決めてから始めるのがよいでしょう。ここでは「4:3 標準画面」を選択しました。通常の「切り抜き」の定型として「横(小さい)、縦(小さい)、横(大きい)」が準備されています。これを利用しましょう。
- (エ) 皆さんの好きな縦横比率で「切り抜き」もできます。その場合は「マニュアル」で写真を「切り抜き」をすることもできます。その操作はあとで学習をします。



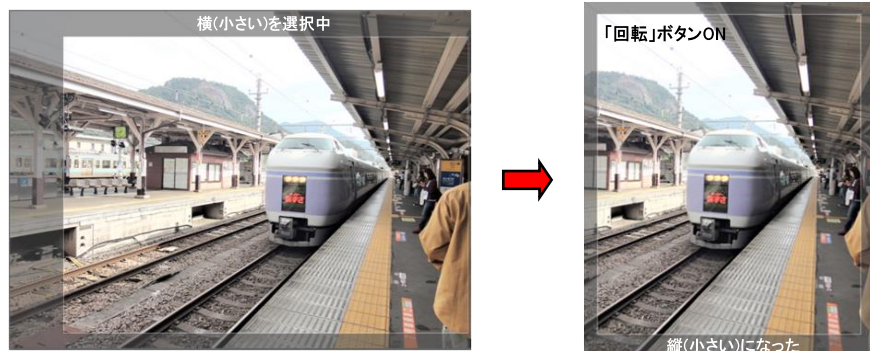
- (オ) 「写真の縦横比率▼」のどの定型の「切り抜き」をするかを決めます。

3つの「トリミング」タイプから1つを「選択」します。選択をすると「トリミング」する範囲が写真の上に表示されます。「トリミング」される範囲を移動したい時は、写真が鮮明な所にマウスポインターをもってゆくと「手のひら」マークが表示されます。その位置でクリックしてドラッグをし、「トリミング」をしたい場所でドロップをすると「トリミング」が確定されます。

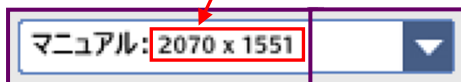
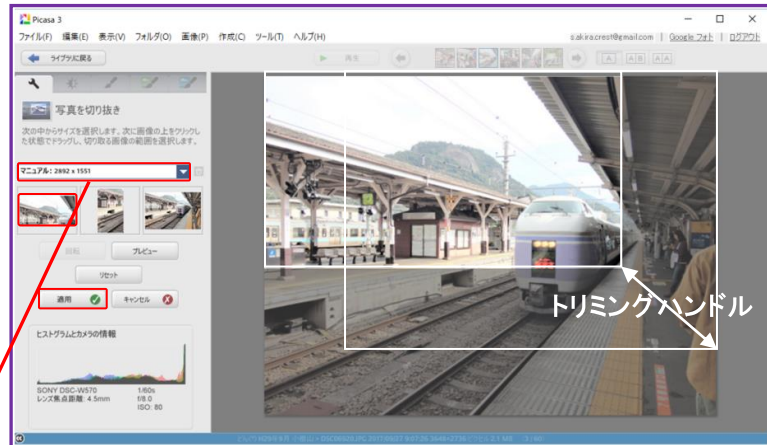
「縦横比率」を変えずに写真のサイズを変更したい時は、マウスを写真の「端」に持ってゆき、両側に矢印の付いた「トリミングハンドル」が表示されます。そのハンドルを使ってトリミングしたいサイズを決め、作りたい写真のサイズとします。



トリミングした後の状態を見たい時は「プレビュー」ボタンを押すと確認ができます。2秒ほどで元に戻りますが、トリミングの内容を確認したい時には重宝する機能です。「トリミング」する方向を変えてみたい時は「回転」ボタンを押すと、トリミングの方向が水平から垂直、またはその逆に変わる事ができます。求めるトリミングであれば「適用」ボタンをクリックします。



(カ) 作成者が任意のサイズに「トリミング」したい時は「縦横比率」を「マニュアル」にし、「トリミング」する範囲が写真の上に表示されています。表示されている「トリミング」の範囲の「端」の線にマウスを持ってゆくと「両側に矢印があるトリミングハンドル(新海が勝手に命名)」が表示されます。その線上で「トリミングハンドル」で「ドラッグ」して「トリミング」したい位置まで持ってゆき「ドロップ」します。「プレビュー」ボタンをクリックして、トリミングが良ければ「適用」ボタンをクリックします。



※マニュアルトリミングで  
「縦横比率」欄の「マニュアル」の右に表示されている数字は、トリミングされた写真のサイズを表示してくれます。  
コラージュを作成する時に活用出来るような機能です。



(キ) 「トリミング」した写真を保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックします。これで「切り抜き」は終了します。

## 10. 写真に「テキスト」を挿入

(ア) 「テキスト」を挿入したい写真を「選択」します。下の赤枠で囲っている写真に「テキスト」を挿入する演習をしてみましょう。





編集メニューボタンの中から、「テキスト」ボタンをクリックします。



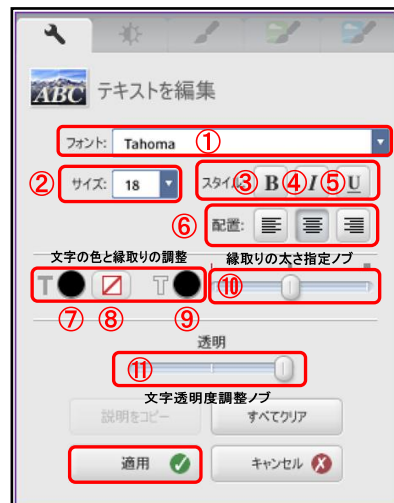
(イ) 「テキスト編集」メニューが表示されます。写真に「好きな場所に入力してテキストを追加して下さい」と表示のところに「テキスト(文字)」を入力します。



(ウ) 「テキスト編集」機能は画像・写真やコラージュにテキスト(文字)を入れる機能

しかし、日本語の「フォント」は限られたフォントしか使う事が出来ません。

「サイズ」設定は希望のサイズを指定する事が出来ます。「スタイル」の設定も「太字」「斜体」「下線」が用意されております。「フォント」に「色」を付ける事は勿論、縁取りもできます。これらを使って趣のあるテキストを作る事が出来ます。「テキスト編集機能」を駆使し色々な「テキスト(文字)」を作ってコラージュや写真に利用しましょう。

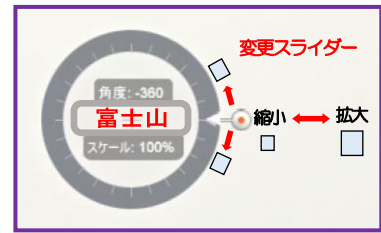


- ① : 文字タイプ
- ② : フォントサイズを数値で指定
- ③ : 太字
- ④ : 斜体
- ⑤ : 下線
- ⑥ : 文字の配置 左、右揃え、中央揃え
- ⑦ : 文字の色を変更
- ⑧ : 文字を透明に(縁取りの時有効)
- ⑨ : 文字に縁取り(アウトライン)を追加
- ⑩ : 縁取り(アウトライン)の太さを指定
- ⑪ : 文字の透明度(透過度)を調整

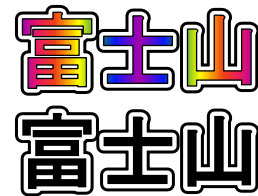
複数行のテキスト文字を表示する時に活用できます。

この講座では演習として「スタイル別」に「富士山」というテキストを作成してみましよう。

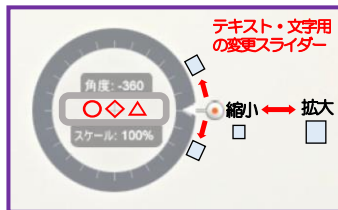
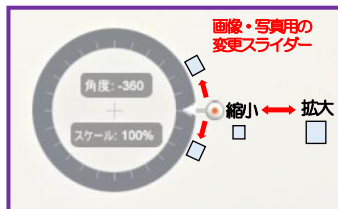
この「テキスト編集」機能を使ってワードアートで作成の「重ね文字」に似せた文字も作る事が出来ます。しかし、「ワードアート」で作成する様な、色鮮やかな「重ね文字」を作成するのは難しく、Picasa3の「テキスト編集」機能で作成した「重ね文字」と、手間がかかるWord「ワードアート」で作成した「重ね文字」を使う場所を選びながら使い分ける方法もあります。



(ワードアートで作成した重ね文字)



(エ) 「テキスト」入力が終了し、「テキストサイズ(スケール)、角度(向き)」と「配置したい場所」などが良ければ、「適用」をクリックします。



**変更スライダー 2種類**  
 テキストや写真を「選択」すると、左の様なスライダーが表示される  
**変更スライダーの使い方**  
 スライダーは左に矢印と赤丸のあるデザインで、赤丸の部分を「左右にスライド」するとテキスト(文字)や画像(写真)のスケール(サイズ)の変更がで、スライダーの赤丸の部分を「円形図に沿って上下に移動する」とテキスト(文字)や画像(写真)の角度(向き)の変更ができます。



(オ) 「テキスト」入り写真を保存する時は、「ファイル(F)」タブから「保存(S)」をクリックします。これで「テキスト」の入った写真が「保存」されます。



●これでPicasa3の写真「基本編集機能」の復習は終わりです。

以上

## IV. 復習編 2

### 11. 「コラージュ(写真)」を「Google フォト」にアップロード

「コラージュ (7月に学習した時は写真でした)」を google フォトにアップロードする方法を復習

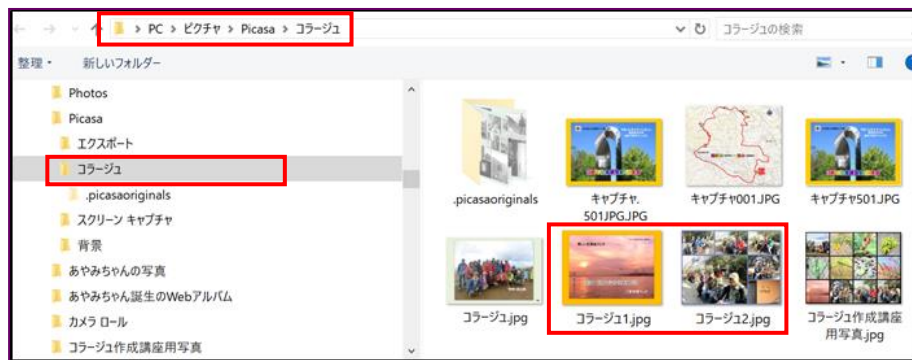
(ア) Picasa3 を立ち上げ「ライブラリー」画面の「google フォト 

Google Chrome の「google アプリ」から「google フォト 

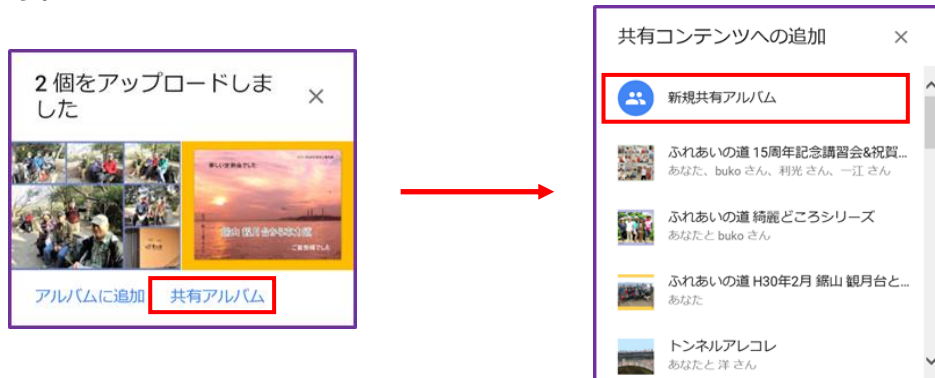
(イ) 「Google フォト」マークの右端にある「アップロード」をクリックします。



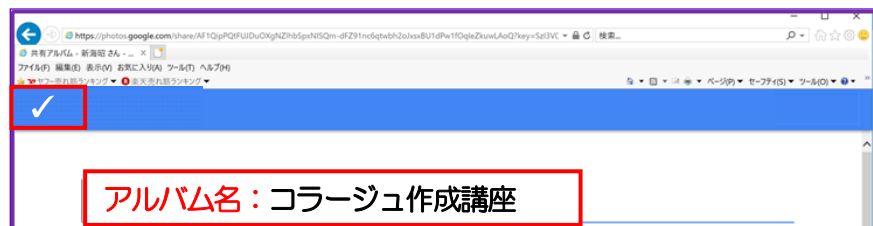
(ウ) PC > ピクチャ > Picasa (Mac) の「コラージュ」に作成し保存の「コラージュ」全作品(7作品)を「選択」し「開く」をクリックします。アップロードが開始され、その状況が表示されます。



(エ) 「共有アルバム」を選択し、表示された「共有コンテンツへの追加」の「新規共有アルバム」を選択します。



(オ) 「アルバム名」を入力し「✓ 完了」をクリックします。



(カ) アップロードしたアルバムの「URL」は下の2つの方法で表示させて「コピー」が出来ます。

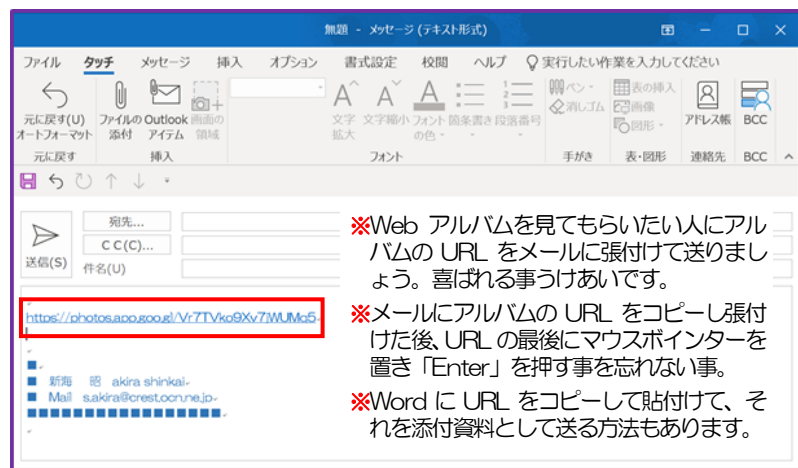
1つは「その他のオプション(赤表示)」から「オプション(赤表示)」をクリックし「共有リンク(赤表示)」のURLをコピーします。2つ目は「共有(青表示)」をクリックし「リンクを作成(青表示)」



を選択すると「アクセス許可」を表示された場合は「許可しない」を選択します。表示された URL を「コピー(青表示)」します。2つの手順のどちらを選択されてもかまいません。



(キ) アルバムの URL を「コピー」し「新しいメール」に「張付け」ます。URL を送る方法は、そのほか色々あります。工夫をして相手の方へ送ってください。



(ク) アップロードした写真の「並べ替え」をします。

「その他のオプション」をクリックし、表示のメニューから「アルバムを編集」をクリックし、薄い空色の帯にある「↑↓」をクリックして、コラージュの「並べ替え」をします。



写真の「並べ替え」は移動したい「写真」を選択し、ドラッグをして目的の位置でドロップして「並べ替え」を行います。多数のコラージュの時も、この操作を繰り返します。

写真の「並べ替え」が終了したら、薄い空色の帯の左端にある「✓ 完了」をクリックします。これでコラージュの「並べ替え」が完了します。



(ケ) コラージュした写真を「ダブルクリック」すると「情報」が入力できる画面が表示されます。「説明を追加」欄にコラージュの「情報や話題」等を入力します。



(コ) 講座で4つの「コラージュの形式」を学びました。多数のコラージュを作成したとき、Webアルバムにコラージュの形式をバランスよく配置させるとよいと思います。

(サ) アルバムの「順序、情報や話題」などを最初コラージュから確認をして間違いがないかを確認しましょう。

- この講座で作成しました7つの「コラージュ」をgoogle フォトへのアップロードして頂きます。そのURL を林講師と会員の皆さんに送付をお願い致します。

以上